



## 女性の生活を支援



7月19日、子ども食堂やフードバンクを手掛ける「NPO法人てしおて」が、市政発展および女性支援のため、生理用品352個とタオル400枚を市へ寄贈しました。理事長の崎山尚子<sup>ひさこ</sup>さんは「必要とする人に届いて欲しい。この活動を知ってもらうことで、子ども食堂にも繋がれば嬉しい」と話しました。

今後、女性支援を目的に、有効に活用させていただきます。

## 家族で力を合わせてチャレンジ



7月17日、南薩少年自然の家で「家族でチャレンジ in 南さつま」が行われ、市内の親子19組54人がペットボトルロケット作りに挑戦しました。日本宇宙少年団加世田カノープス分団から指導を受けて作ったロケットは勢いよく飛んでいき、参加者は歓声を上げていました。田布施小学校4年の鈴木浩斗<sup>ひろと</sup>さんは「羽を作るのが難しかった。思っていたより高く飛んでびっくりした」と話しました。

## 第16回市民体育大会競技別大会



6月26日から7月24日にかけて行われました。一部の種目は雨天により中止となりましたが、参加者は日ごろの練習の成果を発揮してスポーツで汗を流し、市民相互の親睦を図りました。実施された競技の結果は次のとおりです。(団体1位のみ紹介)

- ▽弓道(加世田A) ▽柔道(坊津)
- ▽バレーボール・男子(万世・益山)・女子(益山)
- ▽ゲートボール(大笠)▽グラウンドゴルフ(車岳A)

## みんなで泳いだ 伝統の遠泳大会



7月17日、第39回東シナ海遠泳大会が開催され、大浦小学校4～6年生13人と大浦出身の大笠中学校の生徒8人が大浦干拓双子島水門から越路浜まで約2<sup>き</sup>の遠泳に挑みました。参加者は保護者などからの声援や拍手を受け、最後は全員無事にゴールしました。初めて参加した小学4年の崎向結愛<sup>ゆな</sup>さんは「最初は泳げなくて不安だったけど、完泳できてすごく嬉しかった。また来年も泳ぎたい」と笑顔で話しました。